

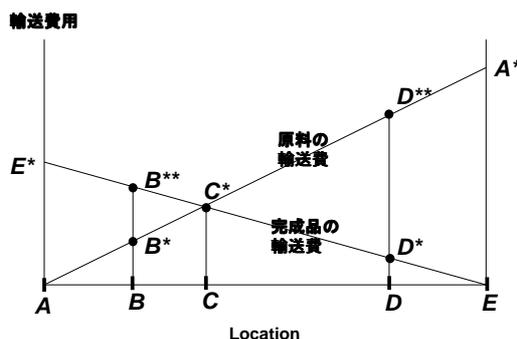
『都市の経済学 小テスト No. 1』 (1問1点、25点満点)

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※で囲まれた数字は解答番号を示す。で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

1. The one input, the one market model について

ある企業は、原料を入手し、加工して、完成品を生産している。この企業は、図の点 A で原料を入手することができ、点 E で完成品を売却することが出来る。図の AA*は原料を輸送するときの費用曲線を表し、E*E は完成品を輸送するときの費用曲線を表す。



1. 1. この企業が点 D に立地し、原料を加工した場合、原料の輸送費用はいくらになるか？ 12 ①DD*、②DD**、③D*D**、④2DD*、⑤その他)
1. 2. この企業が点 B に立地し、原料を加工した場合、完成品の輸送費用はいくらになるか？ 22 ①BB*、②BB**、③B*B**、④2BB*、⑤その他)
1. 3. この企業が点 C に立地し、原料を加工した場合、総輸送費用はいくらになるか？ 33 ①CC*、②CD、③2CC*、④2CD、⑤その他)
1. 4. この企業が利用する原料の重さと完成品の重さを比較すると 42 ①完成品が重い、②原料が重い、③同じ重さ、④不明)
1. 5. この企業は費用を最小化するためにはどこに立地すればよいか？ 51 ① 点 A、② 点 B、③ 点 C、④ 点 D、⑤ 点 E、⑥ その他)

2. 比較優位について

キノコ狩りは上手だが魚釣りが下手な A さんと、キノコ狩りは下手だが魚釣りは上手な B さんがいるとする。二人が 1 時間作業した場合の、キノコと魚の捕獲量は以下の表の通りである。問いに答えよ。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

【選択肢】 (① 1/6、② 1/2、③ 2/3、④ 2、⑤ 4、⑥ 6、⑦ A さん、⑧ B さん、⑨ その他)

表.1 時間あたりの捕獲量

	Aさん	Bさん
魚	4匹	6匹
きのこ	2kg	1kg

- 2.1. A さん・B さんにおいて、魚 1 匹を釣りあげるためにかかる費用は、キノコで計った機会費用で計算するといくらになるか？ A さん (62 kg、B さん (71 kg
- 2.2. A さん・B さんにおいて、キノコ 1 kg を採取するためにかかる費用は、魚で計った機会費用で計算するといくらになるか？ A さん (84 匹、B さん (96 匹
- 2.3. 魚の捕獲に比較優位があるのはどちらか？ (108

3. 交易の利益について

AさんとBさんの総労働時間が10時間あるとする。AさんとBさんは二人とも、魚釣りに5時間、キノコ狩りに5時間を利用して来たとする。以下の問いに答えよ。

- 3.1. AさんとBさんは二人とも、比較優位のある仕事に7時間利用し、他方に3時間を利用することにした。このとき、それぞれの魚とキノコの収穫量を答えなさい。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

【選択肢】(① 3、② 6、③ 7、④12、⑤14、⑥ 18、⑦ 28、⑧ 42、⑨ その他)

【魚】: Aさん (匹、Bさん (匹

【キノコ】: Aさん (kg、Bさん (kg

- 3.2. 労働時間の配分を変化させた後、お互いに交易を行うこととなった。交換比率はキノコ1kgに対して、魚3匹とする。なお、Aさんは労働力を変化させることで増加した全ての収穫をBさんとの交易に利用する。この条件で交易を行った場合、AさんとBさんの最終的な魚とキノコの保有量はいくらか。ただし、交易の際に輸送費などのコストはかからないとする。なお、答えは以下の選択肢から選ぶこと。

【選択肢】(① 5、② 7、③ 8、④ 10、⑤20、⑥22、⑦24、⑧ 30、⑨ その他)

【魚】: Aさん (匹、Bさん (匹

【キノコ】: Aさん (kg、Bさん (kg

- 3.3. この結果、比較優位のある財の収穫を増加させ、さらに交易を行うと、二人の最終的な財の保有量は ①減少する、②増加する、③変化しない、④定まらない、⑤その他)。二人が利用する総労働力は ①減少する、②増加する、③変化しない、④定まらない、⑤その他) ことから、交易を行うことが合理的であることが確認できる。

4. 都市経済学と住宅について

- 4.1. 先進国において都市化の最も早く進んだ国は (①イギリス、②フランス、③米国、④日本) である。

- 4.2. 都市化は、郊外部が (①拡大、②縮小、③後進) していくことと等しい。

- 4.3. 都市化は、人口密度が (①失われる、②減少する、③上昇する) 結果、土地利用の (①普遍化、②高密度化、③初期化) を進めることとなる。その結果、住宅不足・地価高騰・長時間通勤などの住宅にまつわる様々な問題が発生し、その対策として住宅・土地に関わる様々な政策が導入されることとなる。このように、住宅に関連する問題は都市の (①衰退、②多様性、③発展) と関係しており、都市について学ぶことは住宅問題の本質を知ることになる。